

平成29年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第2学年では、教科の正答率及び観点別正答率において、目標値を上回る結果となる。
- ・第3学年では、教科の正答率及び観点別正答率において、昨年度校内平均正答率で関心・意欲・態度を除いて数値が上回る結果となる。

(2) 課題

- ・家庭学習の定着と復習の徹底
- ・基礎的な知識・理解の定着
- ・思考・判断・表現力の育成

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成29年度結果	平成28年度結果	平成27年度結果
第1学年	目標値より1.8ポイント下回る。	/	/
第2学年	目標値を1.7ポイント上回る。	目標値より5.1ポイント下回る。 (第1学年時)	/
第3学年	目標値を0.8ポイント下回る。	目標値より2.3ポイント下回る。 (第2学年時)	目標値より6.4ポイント下回る。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると上回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区の平均正答率より上回るが、全国の平均正答率よりは下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると上回る。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。	区や全国の平均正答率と比較すると下回る。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業規律を徹底させ、学習に取り組む姿勢を身につけさせる。日常の身近なことを話題にし、学習との関係に気づくようにする。	資料や統計、グラフをもとに思考のできる発問を行い、考える機会を設ける。生徒の積極的な発言を促し、発表しやすい環境を整備する。	資料や統計、グラフを活用し、どのようなことに着目して、読み取ればいかを理解させる。	重要語句の確認、反復、復習を繰り返し行い、基礎的な知識の定着を行う。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ニュースや新聞を取り上げて、生徒に興味・関心を持たせ、学習したことにつながるようにする。	個人で考える時間を設けたり、ペアワークをさせたりして、思考・判断・表現する力を身につけさせる。	資料や統計、グラフを活用し、読み取るための学習を繰り返し行い、学習の定着を図る。	基礎的な知識の定着を図るとともに、単元ごとの復習確認テストを実施し、既習事項の確認を行う。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
日頃のニュースや新聞を活用し、歴史や公民の学習と結びつけられるようにする。進路にかかわることに関連づけながら、学習を行う。	ペアワークやグループワーク（4人組）を通して、原因や問題の背景について考えさせる機会を設け、思考・判断・表現する力を身につけさせる。	これまで学習したことに基づいて、特色や特徴、背景、因果関係など、関連性などに結びつけられるように学習する機会を設ける。	入試問題などを活用し、分野別に知識の確認や整理を行い、これまで学習したことへの定着を図る。